

令和元年度 第2回徳島労働局公共調達監視委員会審議概要

開催日時	令和2年1月30日(木) 13:30~14:40	
会場	徳島地方合同庁舎 5階共用会議室	
委員(敬称略)	委員長 松村 豊大	大学教授
	委員 岩佐 誠志	税理士
	委員 島内 保彦	弁護士
事務局	徳島労働局総務課	
審議対象期間	令和元年7月1日~令和元年12月31日契約締結分	
意見の具申又は勧告	なし	

議事

- 1 対象期間中の対象契約件数は6件で、全数審議した。
- 2 審議案件に対する委員からの質疑等及び事務局回答は以下のとおり。

公共工事(競争入札) 審議件数1件	
・徳島公共職業安定所及び徳島障害者職業センター合築庁舎外部手摺り塗装改修等工事(令和元年11月20日契約分)	
質疑等	回答
1) 庁舎の塗装は何年に1回くらい行っているのか。	1) この庁舎は平成14年12月の新営以来、塗装工事は行っておらず初めてである。
2) 応札は1者のみとなっているが、理由は何かあるのか。	2) 入札に関する問い合わせは3~4業者あったが、入札参加者は1者となった。原因は、塗装以外の補修工事を含めたことを考慮し工期を少し長めに設定したことで、その期間に塗装の専門職を確保するのが難しいことなどが考えられる。
公共工事(随意契約) 審議件数0件	
物品・役務等(競争入札) 審議件数5件	
・若年層を中心とした求職開拓事業(令和元年10月1日契約分)	
質疑等	回答
1) この事業は、具体的には何をするのか。	1) ショッピングモールなど人の集まる場所など多くの対象者の参加を促せる場所で、イベント・セミナー等を開催する。

<p>2) 総合評価落札方式で1者応札であるが、技術点の評価では落札となる基準点はあるのか。</p>	<p>2) 技術点には最低の定めがない。技術点の決め方は事業によって異なり、中央で決められたものである。</p>
<p>・年度後半における集中的な就職面接会事業（令和元年10月1日契約分）</p>	
<p>質疑等</p>	<p>回答</p>
<p>1) 東京の業者であり遠いが問題ないか。 2) 現場には徳島の人が行くのか。また、何人くらいの人員が現場につくのか。 3) 実施日と会場が決まった形での入札であれば価格差はなさそうに思われるが、価格差が大きいのはなぜか。</p>	<p>1) 昨年度も同じ業者が落札しているので、問題ない。 2) この業者の四国地区の担当は岡山なので、現場の人員は岡山から来ることになる。会場設営等は会場のホテル側がするので、受付等に5～6人いれば可能だと思われる。 3) この事業は平成27年度くらいから始まったが、当初は入札の価格差がもっと大きかったので、今回の価格差は縮まった方である。価格差は現場で従事する人員の考え方によると思われる。</p>
<p>・ハローワークシステム刷新に係る什器類の調達及びレイアウト一式（令和元年10月1日、10月25日、12月19日契約分）</p>	
<p>質疑等</p>	<p>回答</p>
<p>1) 予定価格の根拠となるものは何か。 2) 3つに分けて発注しているが、まとめた方が割安にならないか。金額による割引率はあるのか。</p>	<p>1) カタログがあるものはカタログ、ないものはインターネット等を参考にして、過去の落札率を勘案して予定価格を算出している。 2) ハローワークごとに時期や内容が異なっていることや、休日しかできない作業もあるので、効率的に進捗させることを考慮して分割とした。物品の購入のみであれば一括すると安くなることがあると思われる。割引率は発注時期などでも異なる。</p>
<p>物品・役務等（随意契約） 審議件数0件</p>	